

別記様式第6号

産地活性化総合対策事業（国産花きイノベーション推進事業）に関する事業評価票（再々評価）

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見	
				基準年 (計画策定時)	目標年 令和6年	目標値	達成度合				
福岡県	花あふれるふくおか推進協議会	30年度	福岡花市場取扱量	(H28) 111,599千本 (千鉢)	80,579千本 (千鉢)	122,759千本 (千鉢)	-278%	<ul style="list-style-type: none"> <li>産地間連携の取組の実施</li> <li>需要に応じた国産花きの生産及び安定供給技術の実証</li> <li>フラワーコンテスト・シンポジウム等の開催</li> <li>学校・福祉施設等での花育体験推進</li> </ul>	・構成員：福岡県、福岡県花き園芸連合会、全国農協協同組合連合会福岡県本部、福岡県花き市場協議会、福岡県花商団体連合会	需要に応じた国産花きの生産および安定供給技術の実証や県産花きの消費拡大に向けた取組を実施してきたが、生産者の高齢化や流通コストの増加、コロナ禍、物価高騰等の影響により生産量が減少しており、未達成となった。 今後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。	
			LED電照による開花促進 トルコギキョウ3-4月出荷割合 (%)	-	-	50%	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要に応じた国産花きの生産及び安定供給技術の実証</li> </ul>			各種実証試験の取組に係る成果目標については、一部、現場に普及している技術等あることから、令和6年度において効果検証のための調査等を行っておらず、令和6年度の実績値は未把握となった。 令和6年度の事業評価後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けて調査手法の検討等の取組を指導し、「実証試験の追跡調査の可否について協議会内で検討する」との回答があったため今回、確認したところ「協議会内で実証試験の追跡調査を検討したが、実証試験の報告は完了しているものとの認識であり、現場にも1年間の実証のみをお願いしているため追跡調査を実施できていません。目標未達成の項目については追跡調査を行うよう、協議会内で引き続き検討します」との回答があった。 事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、今後の方針を検討してもらうよう指導する。
			LED電照出荷割合 ストック11-12月の出荷割合 (%)	-	-	30%	-				
			LED電照出荷割合 カーネーション年内出荷本数10%増 (%)	-	-	10%	-				
			夜間冷房による夏秋ギクの奇形花防止 発生率 (%) 50%以内	-	-	50%	-				
			夜間冷房による夏秋ギクの秀品率の割合 (%)	-	-	120%	-				
			炭酸ガス施用によるガーベラの出荷本数増 (%)	-	-	20%	-				
			炭酸ガス施用によるダリアの出荷本数増 (%)	-	-	10%	-				
露地ギク出荷本数の増加割合 (%)	-	-	10%	-	産地における病害虫防除技術等の実証						

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時)	目標年 令和6年	目標値	達成度合			
			県内主要花市場での県内流通金額の指数(百万円)	(H28) 20,485百万円	19,221百万円	22,534百万円	-62%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワーコンテスト・シンポジウム等の開催</li> <li>・学校・福祉施設等での花育体験推進</li> </ul>		<p>県産花きの消費拡大に向けた取組を実施してきたが、生産者の高齢化や流通コストの増加、コロナ禍、物価高騰等の影響により生産量が減少しており、未達成となった。</p> <p>今後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>
			県産花き出荷量	(H28) 241,010千本(千鉢)	172,880千本(千鉢)	265,111千本(千鉢)	-283%			
佐賀県	佐賀県花づくり推進協議会	30年度	佐賀県における花き産出額110%以上	(H28) 37億円	42億円	40.7億円	135%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き関係者の連携への支援</li> <li>・需要に応じた国産花きの生産及び安定供給技術の実証</li> <li>・フラワーコンテスト、シンポジウム等の開催</li> <li>・学校・福祉施設等での花育体験推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員：佐賀県農業協同組合、佐賀県花き生産団体連合会、(株)佐賀花市場、(株)唐津花市場、佐賀花商組合、唐津花商組合、佐賀県</li> </ul>	<p>佐賀県における花き産出額については、規模拡大志向者や新規就農者への支援等の取組や花きの需要拡大に向けた取組等の実施が産出額の向上につながり、目標達成となった。</p> <p>佐賀市における1世帯当たりの切り花購入金額については、公共施設でのフラワーアレンジメント展示や花の教室の実施等により花に対する興味や理解を深めることができたものの、物価高騰等で消費が衰退し、未達成となった。</p> <p>県内花市場における県内生花店への仕向額については、高品質化及び生産性向上のための取組や県産花きのPRを実施しているものの、物価高騰等によって消費が減退しており、未達成となった。</p> <p>今後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>
			佐賀市における1世帯当たりの切り花購入金額110%(円)	(H28) 11,458円	7,963円	12,604円	-305%			
			県内花市場における県内生花店への仕向額が110%以上	(H28) 11億円	10.8億円	12.1億円	-18%			
長崎県	長崎県国産花き振興地域協議会	30年度	長崎県キク類出荷量の増加	(H28) 62,800千本	47,100千本	72,900千本	-155.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き関係者の連携への支援</li> <li>・産地と加工業者、市場関係者等の広域連携による花き加工技術等の実証</li> <li>・フラワーコンテスト、花文化展示会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員：長崎県花き振興協議会、長崎県花き振興協議会(キク部会、カーネーション部会、洋ラン部会、鉢物部会、草花部会、バラ部会)、長崎花き園芸農業協同組合、佐世保花き園芸農業協同組合、長崎花商協同組合、一般社団法人JFTD長崎支部、長崎県</li> </ul>	<p>キク類出荷量の増加については、高温期安定生産対策や需要喚起に向けた消費拡大プロモーションを実施しているものの輪ギクの消費の低迷、生産コスト増による作付面積や単位面積あたりの定植本数の減少、夏場の異常高温による活着不良及び立ち枯れの発生により未達成となった。</p> <p>切り花の1世帯当たりの年間購入金額の増加については、購入金額の少ない若年層の需要喚起に向け、消費拡大プロモーション活動等に取り組んだものの、令和5年以降嗜好品である切花の購入を抑える傾向が続いているため、目標は未達成となった。</p> <p>後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。</p>
			長崎市での切花の1世帯当たりの年間購入額(円)	(H28) 10,024円	6,646円	11,027円	-336.8%			
熊本県	熊本県花き協会	H30	熊本地域のトルコギキョウ、宿根カスミソウ、カラーの生産量10%以上増加(千本)	(H28) 4,127千本	3,223千本	4,540千本	-218%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地における病害虫防除技術等の実証</li> <li>・フラワーコンテストの開催</li> <li>・学校・福祉施設等での花育体験推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員：熊本県経済農業協同組合連合会、11農協、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県花き事業協同組合、熊本花き地方卸売市場花商組合、肥後花市場花商組合、熊本県、25市町村</li> </ul>	<p>トルコギキョウ、宿根カスミソウ、カラーの生産量の増加については、花育活動の普及等により、花きの生産・消費拡大を図ることができたものの、特にカラーにおける高齢化による農家戸数や作付面積の減少のため、目標未達成となった。</p>

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時)	目標年 令和6年	目標値	達成度合			
大分県	大分県花き産業振興協議会	30年度	スイートピー出荷数量(万本)	(H28) 642万本	406万本	707万本	-363%	<ul style="list-style-type: none"> <li>花き関係者の連携への支援</li> <li>生産技術向上支援</li> <li>フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウム等の開催</li> <li>学校・福祉施設等での花育体験推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成員：大分県花き生産者協議会、大分県園芸花市場、丸果大分大同青果(株)、別府花市場、中津花市場、大分園芸花商組合、大分花商組合、別府花商組合、中津花商組合、夢一輪の会、フラワー装飾大分技能士会、日本フラワーデザイナー協会大分県支部、大分市華道協会、別府いけばな協会、大分県農林水産部園芸振興室、大分県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループ、JA花き販売対策協議会、日本生花通信配達協会大分県支部、ジャパンフラワーネットワーク大分県支部、大分県園芸活性化協議会</li> </ul>	<p>スイートピーの出荷数量については、就農支援を核とした新規就農者の確保や、遮光資材の導入や肥培管理技術の普及による既存生産者の単収の向上に取り組んだが、高齢化による栽培面積の縮小や離農により出荷数量が減少し、未達成となった。</p> <p>実証圃設置圃場アザミウマ類被害率については、本事業で実証した赤色防虫ネットによる被害低減技術が、近年の温暖化によりキク類の品質に影響を与える可能性があることが分かったことから、R元年度以降、当該技術は実施しておらず、令和6年度の実績値は未把握となった。今後は、天敵資材の導入を検討している。</p> <p>今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。</p>
			実証圃設置圃場アザミウマ類被害率(%)	(H29) 40%	-	30%	-			
鹿児島県	かごしまの花消費拡大推進協議会	30年度	重点品目(スプレ-ギク、グレンジオラス、テッポウユリ)の販売(出荷)数量(千本)	(H28) 62,121千本	39,940千本	68,333千本	-357%	<ul style="list-style-type: none"> <li>花き関係者への連携への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成員：鹿児島県農協花き部会協議会、鹿児島県スプレ-ギク研究会、(株)鹿児島園芸花市場、鹿児島県花卉園芸農業協同組合、沖永良部花き専門農協、鹿児島県経済農業協同組合連合会、鹿児島県フラワー協会、日本フラワーデザイナー協会鹿児島支部、フラワーパークかごしま、鹿児島県</li> </ul>	<p>重点品目(スプレ-ギク、グレンジオラス、テッポウユリ)の販売(出荷)数量、及び取組団体(沖永良部花き専門農協)のスプレ-ギク、グレンジオラス、テッポウユリ販売(出荷)数量については、生産性の向上や流通の効率化に係る取組の実施により生産・販売の拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で業務需要が低迷し、当該品目が大きな影響を受けており、未達成となった。</p> <p>今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。</p>
			取組団体(沖永良部花き専門農協)のスプレ-ギク、グレンジオラス、テッポウユリ販売(出荷)数量(千本)	(H28) 19,426千本	19,426千本	21,369千本	-201%			